

令和 6 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	「市の中心拠点」「にぎわいゾーン」における未来志向の場の形成に向けた地域資源調査および環境改善アプローチの研究
担当部署	企画課 / 市街地整備課

研究概要	「市の中心拠点」及び「にぎわいゾーン」について下記項目の研究を行った。 ・各卸団地従業員、エリア内の公園利用者へのアンケート調査による実態把握と分析 ・河内小阪駅、布施駅における利用者へのアンケート調査等を通じた実態把握と分析 ・まちづくりを取り巻く新たな潮流、先進事例の収集 ・大学の視点での将来ありたい姿の検討（ペルソナ手法による検討）
研究成果	「市の中心拠点」では、過年度の研究成果である環境改善の取組みなど産学共創による土壌づくりの場が不足していることから、流通業務団地関係者等との交流・ネットワークを広げ、産学官の共創によるまちづくりに向けて足元の機運醸成と未来志向の建設的な場の形成を図る必要があることがわかった。「にぎわいゾーン」では、河内小阪駅、布施駅での調査を通じて、利用目的や実際の交通量などを把握することができた。

今後の活用

アンケート調査や交通量調査の実施により、従業員の方々のまちに対する印象や交通動態などを把握することができた。これらの基礎資料を基に「市の中心拠点」、「にぎわいゾーン」の活性化に向けた施策検討をすすめる。